

令和3年度老人保健健康増進等事業

<自治体におけるPDCAサイクルの推進に関する調査研究事業>

<株式会社 三菱総合研究所>

高齢化が進展する中において、保険者機能を強化する必要があり、そのためには、保険者においてPDCAサイクルを定着させることが重要となる。厚生労働省では、これまで、「介護保険事業（支援）計画策定のための地域包括ケア「見える化」システム等を活用した地域分析の手引き」、「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き」の普及などを行ってきたが、その普及は進んでおらず、保険者が更に介護保険事業に取り組みやすくする必要があり。そこで、本事業では、PDCAサイクル定着の好事例を収集・周知することを目的として実施した。

自治体が取り組むべきPDCAサイクルについては、介護保険事業計画のPDCAサイクルおよび介護保険事業計画の中で位置づけられている個別取組のPDCAサイクルの両輪が存在する。その両輪のそれぞれのPDCAサイクルについて、好事例を把握することを目的として実施した。

上記の目的を踏まえ、本事業では以下の内容を実施した。

1. ヒアリング調査の実施

PDCAサイクルの推進において各自治体が参考になるようなPDCAサイクル定着の好事例となる自治体を選定し、ヒアリング調査を行った。また、ヒアリング調査の対象については、過去の事例集や手引き等で紹介されている自治体、厚生労働省より表彰されている自治体、検討委員会の委員または厚生労働省等の推薦の自治体をもとに検討を行い、選定した。

2. 事例集・チェックリストの作成

第8期介護保険事業計画の策定・運用に際しては、国は地域課題の分析→課題・目標の設定→目標達成ための取組内容の設定→取組内容の効果の把握、分析・評価（PDCAサイクルの運用）を行うことを求めており、各自治体はPDCAサイクルの運用を踏まえて、現在、第8期計画を進めているところである。

一方でPDCAサイクルの策定・運用において実施すべき事項については、地域が目指す姿や個別の目的を踏まえて実施内容の向上や充実を目指す必要がある。本事業では、ヒアリング調査で把握されたPDCAサイクルの推進の好事例について、実施すべき事項の一連の流れについてその目的や考え方等を整理する事例集を作成した。また、多くの保険者で実施している「通いの場」について、検討委員会での議論やヒアリング調査の結果等を踏まえて、PDCAサイクルのチェックリストを作成し、合わせて提示した。

3. 報告書の作成

本事業にて実施したヒアリング調査および事例集・チェックリストの作成、事業結果のまとめ及び考察の内容に関して、事業報告書にて整理した。